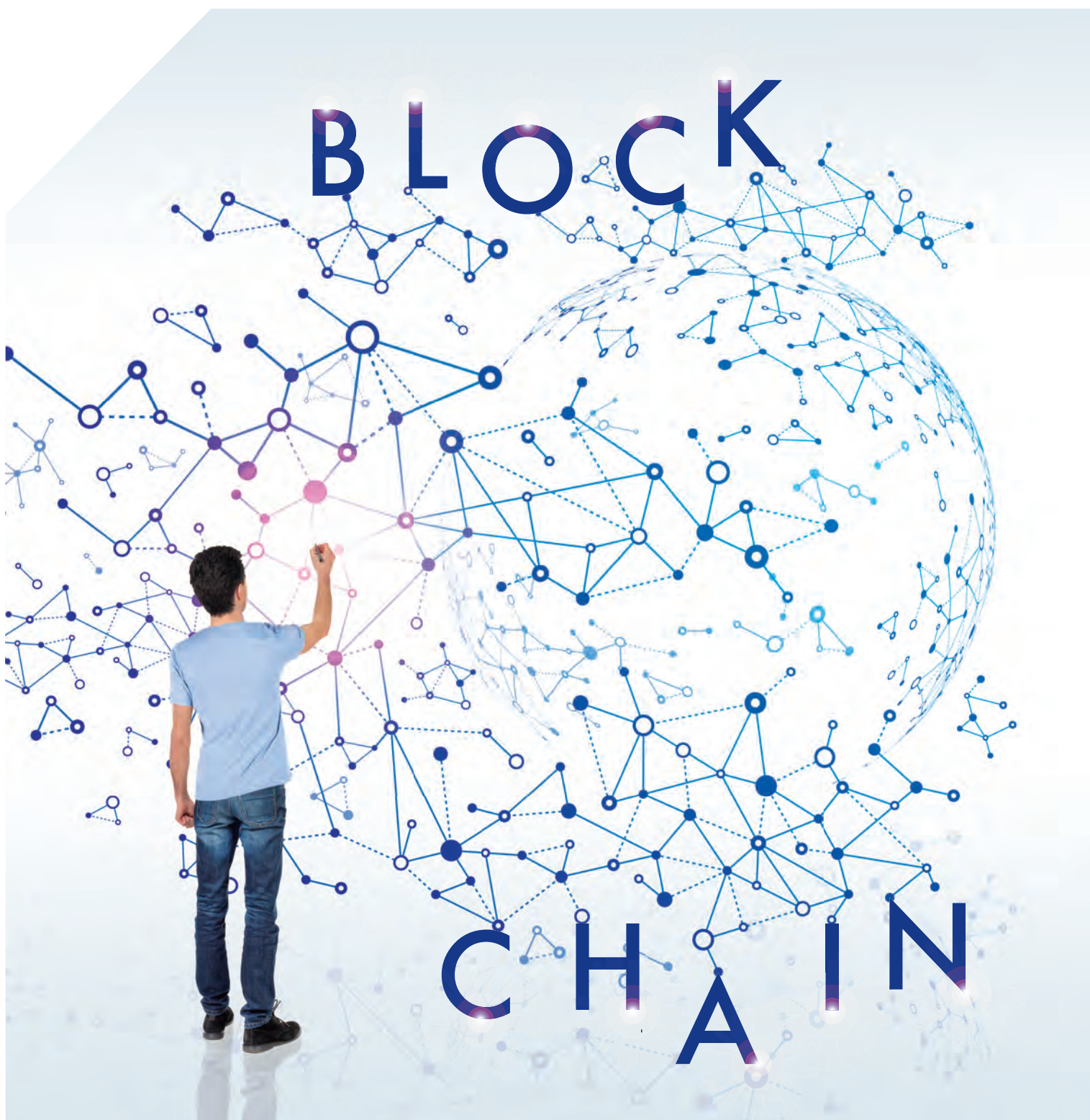




インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド

愛称: 世力エル
世界を変える技術

追加型投信／内外／株式／インデックス型



お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

投資信託説明書（交付目論見書）のご請求・お申し込みは



商号等 株式会社広島銀行
登録金融機関 中国財務局長（登金）第5号
加入協会 日本証券業協会
一般社団法人金融先物取引業協会

設定・運用は

インベスコ・アセット・マネジメント

商号等 インベスコ・アセット・マネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第306号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

ファンドのコンセプト

ファンドの Point1

ブロックチェーンの 拡大に着目

インターネットに次ぐ技術革新として注目されるブロックチェーン。その活用が進むことで、これまでの世界を変えるような新しいサービス・仕組みの出現が期待されています。

世界を変える技術

インターネットが世界を変えたようにブロックチェーンも様々な可能性が期待されています。

ブロックチェーンを活用した新しいサービス・仕組みが世界を変えていくと考えられています。

ブロックチェーンとは

複数のコンピュータで取引記録を共有し、その取引記録の固まり(ブロック)を暗号を介して鎖(チェーン)のようにつないで管理する仕組みです。データ・情報を分散管理し、正しい記録の連鎖情報として扱えることが特徴とされています。

ファンドの Point2

ブロックチェーン・ ビジネス関連企業の 株式に投資

日本を含む世界各国の上場株式の中で、ブロックチェーンを活用して新たなサービス・仕組みを作り出している、もしくは作り出すと期待される企業に投資を行います。

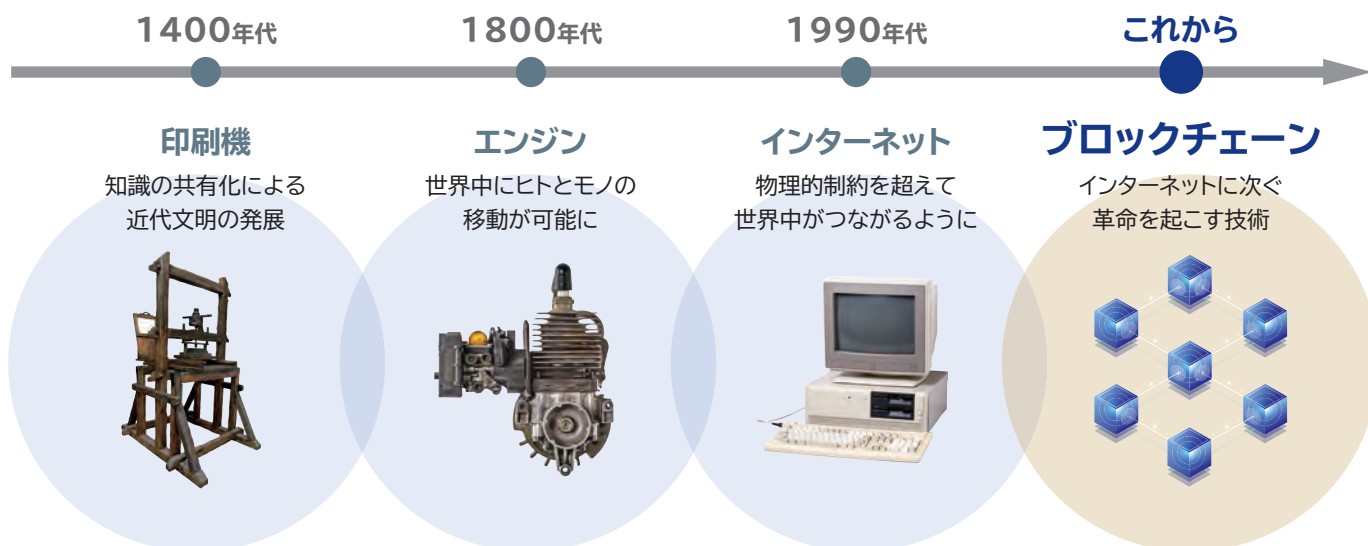
ファンドの Point3

ブロックチェーン投資の 革新的なインデックス

投資成果の連動を目指すエルウッド・ブロックチェーン・グローバル・エクイティ・インデックスは、デジタル・アセットに特化した投資会社であるエルウッド社が独自の分析に基づいて選定したブロックチェーン関連銘柄で構成されるインデックスで、ブロックチェーンの拡大を捉える投資機会という点で、従来の時価総額型インデックスとは異なる革新的なインデックスです。

ブロックチェーンは インターネットに次ぐ技術革新として 期待されています。

世界を変えてきた技術革新



ブロックチェーンの主な特徴

- ✓ データ・情報を分散管理し、正しい記録の連鎖情報として扱えることが特徴
- ✓ データ・情報がチェーンのようにつながるため、インターネットでは難しかった価値や資産のやりとりができる画期的な技術
- ✓ 最初の実用化は2009年のビットコインで、暗号資産（仮想通貨）という形でインターネット上で価値や資産のやりとりが可能に
- ✓ 基幹技術として幅広い分野で活用されていくことで、社会や生活を大きく変えていくインパクトがあると期待されている

特 徴	これまで	これから	メリット
分散管理	従来の集中管理型	ブロックチェーンの分散管理型	<中央システム不在のメリット> システム運用・保持のコストが低下 システム障害による停止・中断リスクの低下
連鎖情報	データ・情報は各機関が個別管理 分断されている	データ・情報はブロックチェーン上で共有／連続 つながっている	<データ・情報がつながることのメリット> 異業種・各機関の効果的な情報活用 情報履歴があるため、改ざんは困難、追跡可能

※上記はイメージであり、実際とは異なる場合もあります。

ブロックチェーンで インターネットだけではできなかった ことの実現が期待されています。

インターネットが『情報』（最初の事例：電子メール）のやりとりに留まっていることに対して、ブロックチェーンでは『価値・資産』（最初の事例：ビットコイン）のやりとりもできるようになります。

ブロックチェーンを活用したサービスは、個人が提供も利用もすることができて、社会インフラのように広がっていくことが考えられ、生活がより便利なものになると期待されています。

ブロックチェーンによる 未来の世界

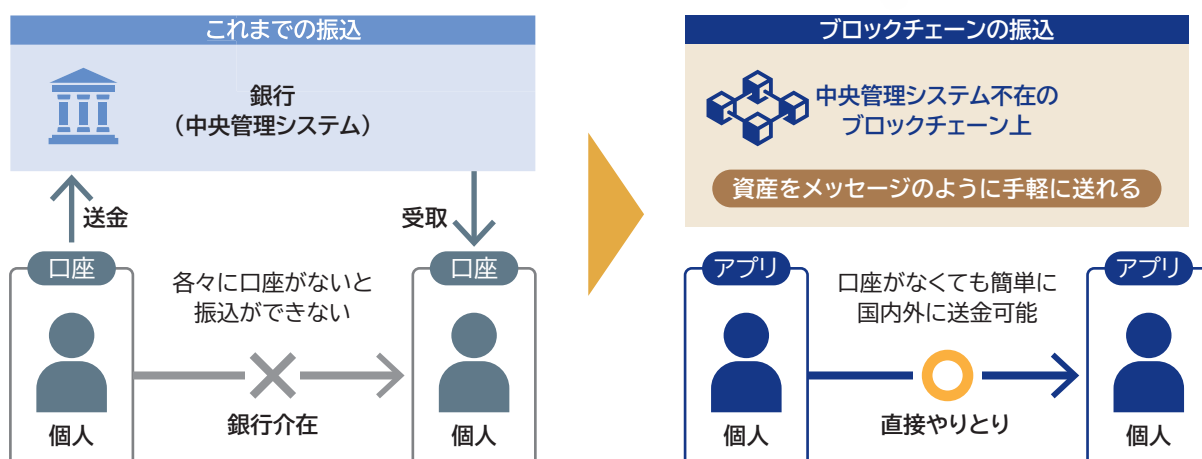
世界中どこでも個人が
サービスを提供・利用

ブロックチェーンの事例 1

振込がもっと手軽に！

振込

銀行や国境といった垣根がなくダイレクトに可能



中央管理システムが介在しないため、手軽かつ便利に、
個人間で価値・資産のやりとりが可能に

銘柄例

スクエア・バンク

モバイル決済システムの開発・販売企業。企業や個人が、送金や決済を手軽にできるモバイル決済アプリ等も提供。

ブロックチェーンの事例 2

ニセモノがなくなる！

物流

ブロックチェーンで模倣品を排除する仕組み

これまでの問題点

各過程でデータ・情報が分断されているため、物流過程で不正があっても発見が不可能

これからの解決策

ブロックチェーンで製品情報の履歴が記録されるため、改ざんは困難・追跡可能で不正を排除

ブロックチェーンによる物流管理システム



ダイヤモンドのニセモノ防止、医薬品の偽造防止、食の安全管理など物流全般の幅広い活用が期待

銘柄例

リオ・テント

国際的な鉱山企業。ブロックチェーンで原料採掘からの製造過程を記録し、社会・環境にやさしい持続可能なアルミニウム生産を推進。

ブロックチェーンの事例 3

どこでも適切な診察が受けられる！

医療・保険

分断されていた医療・保険情報をブロックチェーンで効率的に活用

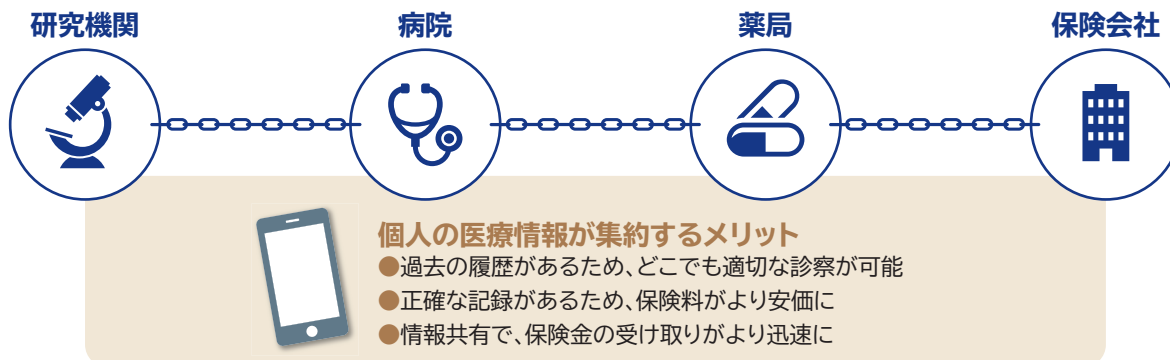
これまでの問題点

各機関で医療・保険情報などが分断されているため、診察や保険の手続きが煩雑

これからの解決策

ブロックチェーンで分断されていた情報が共有できるため、診察や保険の手続きが効率的に

ブロックチェーンによる医療情報の一括管理システム



異業種・各機関が連携して、より良い医療サービスやまだ存在しないサービスの登場が期待

銘柄例

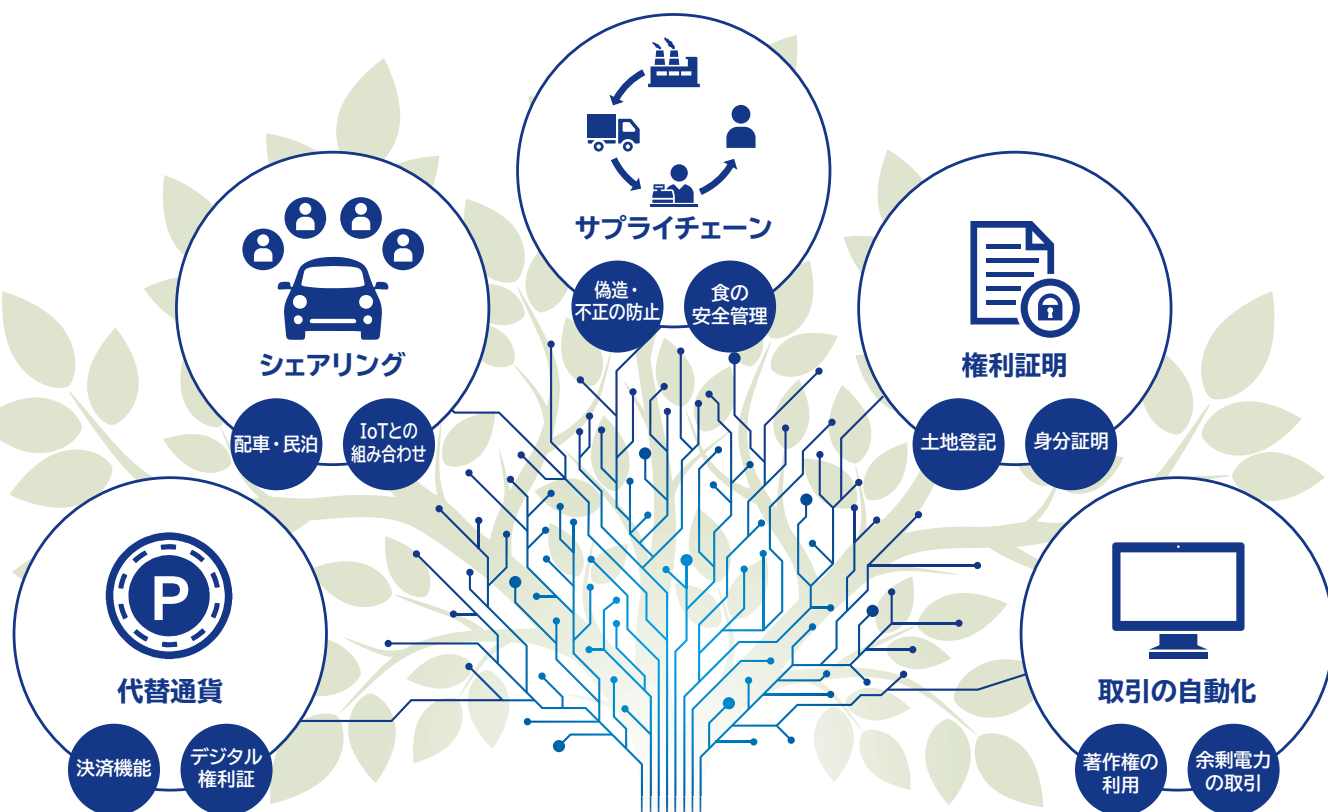
IBM

米国のコンピューター・ソリューション企業。保険会社や銀行と連携し、分断されていた医療・保険情報をブロックチェーンで効率的に活用するシステムを開発。

ブロックチェーンは
どれくらい
有望か？

BLOCKCHAIN

ブロックチェーンには 社会や生活を変えるインパクトが あると期待されています。



ブロックチェーンの幅広い活用による波及効果は
2030年までに3.1兆米ドル(約340兆円)*
に拡大するとの試算もあります。

約340兆円の市場規模は、200～250兆円と言われる自動車産業の市場規模を凌ぐ大きさ
(世界の販売台数9,680万台(2017年、国際自動車工業連合会)に基づく推計)

巨大なインターネット市場がベース

37億人
全世界のインターネット人口
(2017年)
出所：世界銀行、国連

82億台
全世界の携帯電話契約数
(2018年)
出所：国際電気通信連合

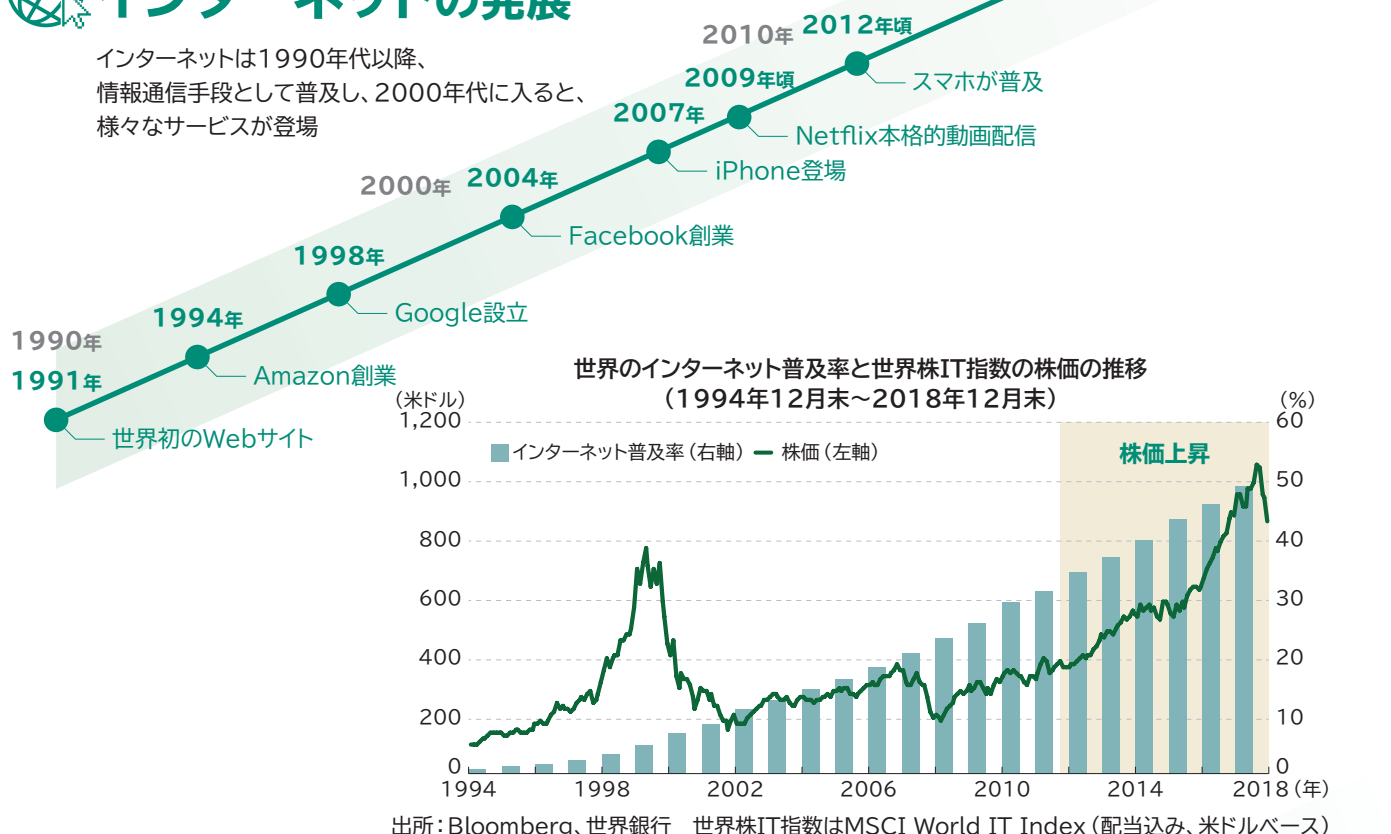
*出所：市場規模：Gartner『Forecast: Blockchain Business Value, Worldwide, 2017-2030』(2017年3月) 市場規模の3.1兆米ドルを109.715円/米ドルで換算、WMロイターのレートに基づく。
作成時点での潜在的な市場規模の予測であり、将来を保証するものではありません。

ブロックチェーンによる 変化は始まったばかりであると 考えられています。



インターネットの発展

インターネットは1990年代以降、
情報通信手段として普及し、2000年代に入ると、
様々なサービスが登場



ブロックチェーンの発展

ブロックチェーンは2009年に
暗号資産 (仮想通貨) の中核技術として
登場、現在はパラダイム・シフトの序章



ブロックチェーン 1.0

暗号資産 (仮想通貨) への適用

ブロックチェーン 2.0

金融業界での活用
2025年市場規模*:
約19兆円**

ブロックチェーン 3.0

他業界への拡大 (世界が変わる)
2030年市場規模*:
約340兆円**

*出所: 市場規模: Gartner 『Forecast: Blockchain Business Value, Worldwide, 2017-2030』 (2017年3月)
**市場規模は2025年の1,760億米ドル、2030年の3.1兆米ドルを109.715円/米ドルで換算、WMロイターのレートに基づく。
作成時点での潜在的な市場規模の予測であり、将来を保証するものではありません。

運用について

エルウッド・ブロックチェーン・グローバル・エクイティ・インデックスについて

エルウッド社が独自の分析に基づいて選定したブロックチェーン関連銘柄で構成されるインデックス

インデックス・アドバイザー(開発):エルウッド社

- エルウッド社(エルウッド・アセット・マネジメント)はデジタル・アセットに特化した投資会社
- 金融市場での豊富な経験とブロックチェーン技術の深い知見の融合により、世界の投資家に画期的な運用戦略を提供
- 2019年3月にインベスコと共に革新的な投資商品としてインベスコ・エルウッド・グローバル・ブロックチェーンUCITS ETF(上場投信)を設定



インデックス・プロバイダー(算出・公表):ソラクティブ社

- ソラクティブAGはドイツを拠点とするインデックス・プロバイダーでグローバルで事業を展開
- インデックス連動型の金融商品のため、柔軟かつ効率的なソリューションを開発



インベスコについて

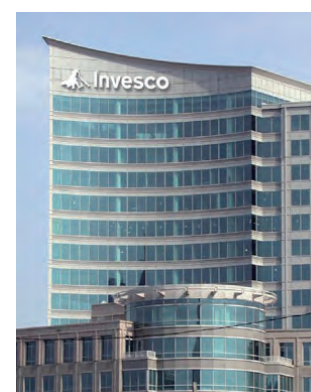
インベスコ・アセット・マネジメント株式会社は、米国アトランタを本拠地とする独立系運用会社インベスコ・リミテッドのグループの一員です。インベスコ・リミテッドは、ニューヨーク証券取引所に上場しており、米国の株式市場の代表的な指数であるS&P500種株価指数の採用銘柄にもなっています。世界25カ国以上の拠点で資産運用サービスを展開し、運用資産は約1兆2,262億米ドル(約133兆円)を誇ります。



世界最大級の
独立系運用会社



安定した
経営基盤



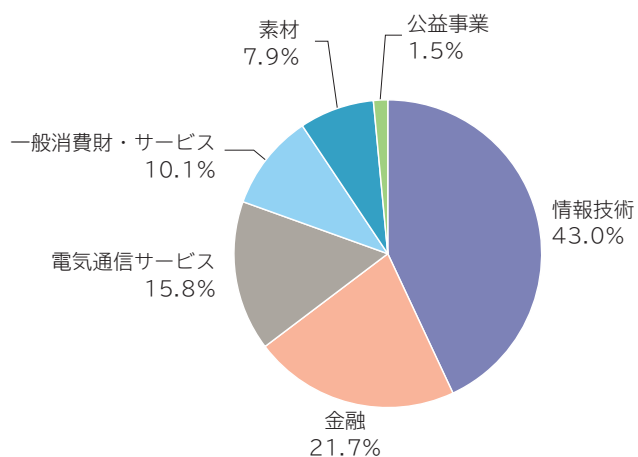
インベスコ グローバル本社

出所:インベスコ、2019年12月末時点。
為替レートは108.675円/米ドルで換算、WMロイターのレートに基づく。

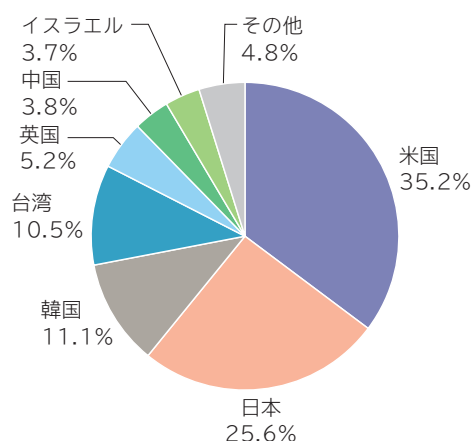
インデックスの構成銘柄(2020年4月末時点)

エルウッド・ブロックチェーン・グローバル・エクイティ・インデックス

〈業種別構成比〉



〈国別構成比〉



構成比率上位10銘柄

	銘柄	業種	国	比率
1	創意電子	情報技術	台湾	4.9%
2	台湾セミコンダクター	情報技術	台湾	4.8%
3	GMOインターネット	情報技術	日本	4.7%
4	カカオ	コミュニケーション・サービス	韓国	4.5%
5	オーバースtock・ドット・コム	一般消費財・サービス	米国	4.4%
6	プラス500	金融	イスラエル	3.7%
7	CMEグループ	金融	米国	3.6%
8	野村総合研究所	情報技術	日本	3.2%
9	楽天	一般消費財・サービス	日本	3.0%
10	Canaan Inc	情報技術	中国	2.9%

出所:Bloomberg

エルウッド・ブロックチェーン・グローバル・エクイティ・インデックスの2020年4月末時点の構成銘柄および構成比率であり、実際のポートフォリオとは異なります。上記は投資対象銘柄の例示を目的として示したものであり、当該銘柄に対する投資を推薦、勧誘するものではありません。

ファンドの目的・特色と運用プロセス

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

日本を含む世界各国のブロックチェーン関連株式を実質的な主要投資対象※とし、エルウッド・ブロックチェーン・グローバル・エクイティ・インデックス(円換算ベース)の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。

※「実質的な主要投資対象」とは、ファンドがマザーファンドを通じて投資する、主要な投資対象をいいます。

ファンドの特色

- 1.主として、マザーファンド※¹受益証券への投資を通じて、日本を含む世界各国のブロックチェーン関連株式に投資を行います。
効率的な運用を目的として、ブロックチェーン関連株式を投資対象とする上場投資信託証券にも投資することがあります。
- 2.エルウッド・ブロックチェーン・グローバル・エクイティ・インデックス(円換算ベース)※²の動きに連動する投資成果※³を目指します。
- 3.実質外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行いません。
- 4.インバスコ・キャピタル・マネジメント・エルエルシー(米国、ダウナーズグループ)に、マザーファンドの運用指図に関する権限を委託します。

※¹ ファンドが投資対象とするマザーファンドは、「インバスコ 世界ブロックチェーン株式 マザーファンド」です。

※² ◆ファンドは、エルウッド・ブロックチェーン・グローバル・エクイティ・インデックス(円換算ベース)をベンチマークとします。

◆エルウッド・ブロックチェーン・グローバル・エクイティ・インデックス(円換算ベース)とは、基準日前営業日のエルウッド・ブロックチェーン・グローバル・エクイティ・インデックス(米ドルベース)の数値を、委託会社が基準日当日の米ドル為替レート(対顧客電信売買相場の仲値)で独自に円換算したものです。

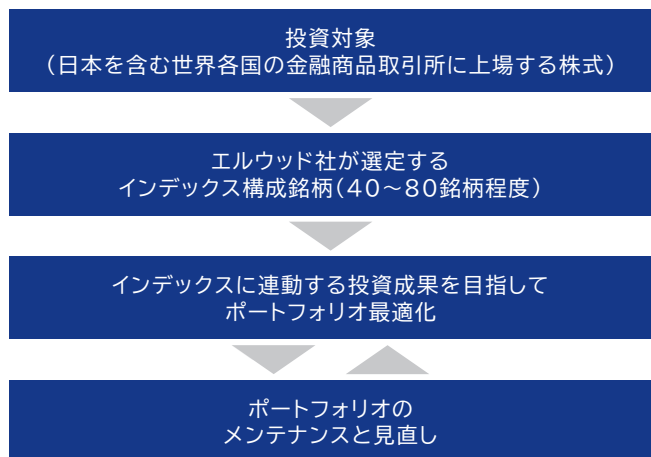
◆エルウッド・ブロックチェーン・グローバル・エクイティ・インデックスは、エルウッド・アセット・マネジメントが独自の分析に基づき選定した銘柄で構成され、ソラクティブ AG(ソラクティブ社)によって算出、公表されています。

◆ソラクティブ社は、エルウッド・ブロックチェーン・グローバル・エクイティ・インデックス(当指数)、およびその登録商標、当指数データの利用結果に関して、何時、いかなる点においても明示的、黙示的な保証または確約を行いません。ソラクティブ社は当指数を正確に算出するために最善を尽くしますが、指数提供者としての義務にかかわらず、投資家および金融商品の仲介者を含む第三者に対して、当指数の誤りを指摘する義務を負いません。ソラクティブ社による当指数の公表および金融商品に関連した目的での当指数または当指数の商標利用の使用許諾は、ファンドへの投資を推奨するものではなく、また、ファンドへの投資に関してソラクティブ社の保証または意見を表明するものではありません。

※³ ファンドは、ベンチマークと連動する投資成果を目指して運用を行います。基準価額とベンチマークの動きは乖離する場合があります。

ファンドの運用プロセス

ファンドの主な投資対象であるマザーファンドの運用を担当するインバスコ・キャピタル・マネジメント・エルエルシーの運用プロセスは以下の通りです。



エルウッド・ブロックチェーン・グローバル・エクイティ・インデックス

日本を含む世界各国の上場株式の中で、ブロックチェーンを活用して新たなサービス・仕組みを作り出している、もしくは作り出すと期待される企業で構成

<エルウッド社のインデックス構成プロセス>

1. ブロックチェーンに関連する分野として、ブロックチェーン技術を用いた決済システムやサービス等のブロックチェーン・ビジネスを特定
2. 財務分析や経営陣との面談等のリサーチを通じて、ブロックチェーン・ビジネスが企業価値に占める割合、ブロックチェーン領域における占有率等に基づき、個別銘柄を重要度に応じて5段階でスコアリング
3. リサーチによるスコアに基づき、株式の流動性(出来高)を考慮し、構成銘柄および構成比率を決定

*ファンドの運用プロセス等は、ファンドの設定日現在のものであり、今後変更となる場合があります。

*効率的な運用を目的として、ブロックチェーン関連株式を投資対象とする上場投資信託証券にも投資することがあります。

資金動向、市況動向の急激な変化が生じたとき、およびこれらに準ずる事態が生じたとき、あるいは投資信託財産の規模が上記の運用を行うに適さないものとなったときは、上記の運用ができない場合があります。

当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、償還の準備に入ったときなどが含まれます。

投資リスク

ファンドは預貯金とは異なり、投資元本は保証されているものではないため、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて受益者に帰属します。

基準価額変動の要因

ファンドは実質的に国内外の株式など値動きのある有価証券等に投資しますので、以下のような要因により基準価額が変動し、損失を被ることがあります。

価格変動リスク 〈株式〉株価の下落は、基準価額の下落要因です。

株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績や財務状況、市場の需給などを反映し、下落することがあります。中小型株式は、一般的に業績の変化が大きく、株式市場全体の値動きよりも株価の変動が大きくなる傾向にあります。ファンドは、特定のテーマに絞って投資を行うため、ファンドが投資する企業の業種が偏在する場合があります。株式市場全体の動きとファンドの基準価額の動きが大きく異なる可能性があります。また、より幅広い業種・テーマの株式に投資する場合と比べ、基準価額の変動が大きくなる可能性があります。

信用リスク 発行体や取引先の債務不履行等の発生は、基準価額の下落要因です。

ファンドが投資する有価証券の発行体が債務不履行や倒産に陥った場合、または懸念される場合、当該有価証券の価格が大きく下落したり、投資資金を回収できなくなることがあります。また、投資する金融商品の取引先に債務不履行等が発生した場合に、損失が生じることがあります。

カントリー・リスク 投資対象国・地域の政治・経済等の不安定化は、基準価額の下落要因です。

投資対象国・地域において、政治・経済情勢の急激な変化や新たな取引規制が導入される場合などには、ファンドが投資する有価証券等の価格が下落したり、新たな投資や投資資金の回収ができなくなる可能性があります。新興国・地域への投資は、先進国への投資に比べ、「カントリー・リスク」「価格変動リスク」「信用リスク」「流動性リスク」が高い傾向にあります。

為替変動リスク 為替の変動(円高)は、基準価額の下落要因です。

ファンドは為替ヘッジを行わないため為替変動の影響を受けることになり、円高方向に変動した場合には外貨建資産の円での資産価値が下落します。

流動性リスク 流動性の低い有価証券等は、不利な条件での売買となる可能性があります。

市場規模が小さい、または取引量が少ない有価証券等については、市場実勢から期待される価格で売買できない場合や、希望する数量の一部またはすべての売買ができない可能性があります。
※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

ファンド固有の留意点

ベンチマークに関する留意点

- ファンドはベンチマークの動きに連動する投資成果を目指して運用を行いますが、主として、ファンドとベンチマークの組入資産の銘柄、売買タイミング、時価評価および比率の差異並びに信託報酬、取引費用、為替等の要因があるため、ファンドとベンチマークの騰落率は完全に一致するものではなく、乖離する場合があります。ベンチマークの算出・取得ができない事態が生じた場合、委託会社はベンチマークの変更や廃止を含む運用方針の見直しを行うことまたはファンドを償還することがあります。

投資信託に関する留意点

- ファンドの購入に関しては、クーリングオフ(金融商品取引法第37条の6の規定)制度の適用はありません。
- ファンドにおいて短期間に相当金額の換金資金の手当てを行う場合や市場環境の急激な変化等により市場の流動性が低下した場合は、当初期待された価格や数量で有価証券等を売却できないことがあります。
- マザーファンド受益証券に投資する他のベビーファンドの追加設定・解約等に伴う資金変動などが生じ、マザーファンドにおいて組入有価証券等の売買が行われた場合などには、組入有価証券等の価格の変化や売買手数料などの負担がマザーファンドの基準価額に影響を及ぼすことがあります。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用	
購入時手数料	購入の申込受付日の翌営業日の基準価額に販売会社が定める 3.30%(税抜3.00%)以内 の率を乗じて得た額
信託財産留保額	ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用	
運用管理費用 (信託報酬)	日々の投資信託財産の純資産総額に 年率1.573%(税抜1.43%)以内 の率を乗じて得た額とします。運用管理費用(信託報酬)は日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。
その他の費用 ・手数料	● 組入有価証券の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用などは、実費を投資信託財産中から支払うものとします。これらの費用は運用状況などによって変動するため、事前に具体的な料率、金額、計算方法および支払時期を記載できません。 ● 監査費用、目論見書・運用報告書の印刷費用などは、投資信託財産の純資産総額に対して 年率0.11%(税抜0.10%)を上限 として、毎計算期間の最初の6か月終了日および毎計算期末または信託終了のとき、投資信託財産中から支払うものとします。

お客さまにご負担いただく費用の合計額については、保有期間などに応じて異なりますので、表示することができません。
詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■お申込みメモ

購入単位	お申し込みの販売会社にお問い合わせください。 ＊分配金の受け取り方法により、「分配金再投資コース」と「分配金受取りコース」の2コースがあります。
購入価額	購入の申込受付日の翌営業日の基準価額
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払いください。
換金単位	お申し込みの販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金の申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として換金の申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
購入・換金申込不可日	ニューヨーク証券取引所、ロンドン証券取引所のいずれかの休業日またはニューヨークの銀行休業日に該当する日には、購入・換金のお申し込みの受け付けを行いません。
申込締切時間	原則として毎営業日の午後3時まで（販売会社所定の事務手続きが完了したもの）
換金制限	投資信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金申込には一定の制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取り消し	取引所などにおける取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申し込みの受け付けを中止すること、および既に受け付けた購入・換金のお申し込みの受け付けを取り消すことがあります。
信託期間	2019年7月11日から2029年7月10日まで
繰上償還	信託契約の一部解約により、受益権の総口数が30億口を下回ることとなった場合などは、信託期間の途中で償還することがあります。
決算日	毎年7月10日（ただし、同日が休業日の場合は翌営業日）
収益分配	年1回の決算日に分配方針に基づいて収益の分配を行います。 ＊「分配金再投資コース」でお申し込みの場合は、分配金は税引後無手数料で再投資されます。
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。配当控除は適用されません。

■委託会社、その他の関係法人

委託会社（設定・運用など）	インバスコ・アセット・マネジメント株式会社
受託会社（投資信託財産の管理など）	三井住友信託銀行株式会社（再信託受託会社：株式会社日本カストディ銀行）
販売会社（受益権の募集・販売の取り扱いなど）	販売会社については下記ファンドに関する照会先にお問い合わせください。

＜ファンドに関する照会先＞ファンドの基準価額、販売会社等の情報についてはインバスコ・アセット・マネジメント株式会社にお問い合わせください。
お問い合わせダイヤル 電話番号：03-6447-3100【受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで】 ホームページ：<http://www.invesco.co.jp/>

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

＜当資料お取り扱いのご注意＞

当資料はインバスコ・アセット・マネジメント株式会社が作成した販売用資料です。当資料は信頼できる情報に基づいて作成されたものですが、その情報の確実性あるいは完結性を表明するものではありません。また、過去の運用実績は、将来の運用成果を保証するものではありません。当資料で詳述した分析は、一定の仮定に基づくものであり、その結果の確実性を表明するものではありません。分析の際の仮定は変更されることもあり、それに伴い当初の分析の結果と差異が生じる場合があります。当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見などは特に記載がない限り当資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。ファンドの購入のお申し込みの場合には、投資信託説明書（交付目論見書）を販売会社よりあらかじめまたは同時にお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。投資信託は預金や保険契約と異なり、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関は投資者保護基金には加入しておりません。ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。ファンドは実質的に国内外の株式など値動きのある有価証券など（外貨建資産には、為替リスクもあります。）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。これらの運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。